



初編上
 武庫三馬
 素人狂言故切形

2833
 1



2833
1

式亭三馬戲著

山青堂上梓

素人狂言紋切形
七杉初稿



正足
素人

素人狂言紋切形自序 齋首蘭

一とくこえく唐山つん花な何なに代しろ狂きやう云を更さらめをいく守り我が

大戲場おほいげばう世話場せわばう幕明まくあき抄しやう日本書紀やまと乃なり

正本ただほんと本讀ほんよみ大八洲おほやしまの坐元まゐりさん

天照大神あまてらすかみ戲房げばうの雄失おし乃なり役不足やくふそく山笠やまがさ一ひと乃なり

石窓いしど入いりしし段石だんいしと因よ幽居ゆうき幕出まくで乃なり

乃なり暗歸くらかへりと失うしなひ頭取かぶととり月日つきひを出い段だんとと

世界せかいの黒幕くろまくの常暗とこやみにけりけりよ。五月ごがつ燈あかりめす
うまがて下くだに神かみら。夏あつ芝居しばいの札ふだ銭せん女にょ河邊かべに
初會はつかいと。神會かみかいふ會かいあつて。むしむしまのまの小刀ことう細こ五ごハ
芝居しばいらうどふ天あめらうにに伎ぎふああぶぶと。白奪しろくわつ乃の趣おも
向むかと思兼おもひかね神かみ冠かん作者しやうしやらあまあまと。并なばばくくらら子こ
はくくくくららのの安常やすじやう世よの鳥とり去さ去さとと唄うたりりややは。
ひ幕ひまく乃の出で倍ばい淨じやう指傷さしきやう。豊とよ芝原しばはらの中なか賣うりに
賣うり方かたあふ。鳴呼なげいははががももかりかりやや。手て力ちから雄おとこ首くびのの荒あら
事こと。誰たれとと思おもふふ也や。猿女さるめ君きみのの遠祖とほそ天あめ細こ女にょ命いのち
のの忽たち然ぜん拾出しやくしゅつ。手てやや茅ちやう纏まと去さ稍かたととらら。八や十じゆ萬まん
おお神かみららうう出で離子りしの下げ坐ざふふ合あひひとと。庭にわ燎りやうの
神樂かみがら所作しよさく事ことにに他た優ゆうす。大神おほのかみこことと細この
窺のぞくく。大日本おほにっぽんややのの大おほ夫おとこここんんいいよよ大おほ神かみのの
ささははくくくく宣のたまひひ。古ふる神かみをを穿うぎぎ乃の本もと

原よりこれ。さうしては降風俗乃夢寐。

或も俗伎。竹くお前をいへる。猶呼をさゆぐ。

かまれども。火酢芥命と河塗顔乃聲す。さうも。

今お戯子の濫觴を魚く。一雲と出雲の阿國。

名護尾山本と俱くけく。物真侶狂言はくし。

發つそのら。今尚三箇津に搦と搦く。許々の

狂言坐くならく。さうも。官官の存なり。さう

は。神を勾欄の試者。不誘く。さうくく。さう

贅添す。什麼く。素人演劇と。さうまの

時代より鼻祖りむ。

神武天皇元年より。今文化九年まで。

二千四百六拾余年。於皇朝と經れ。さう

紀記史類。さうと載なす。口碑。世に

ふ。さうと。賣茶翁が。さう手。さう

心々々々我々茶番師と稱す。援伎某が

是々々々字々々々他々狂言師と呼ぶ。

一節白兔如在三樂。富士藏等が為乃人。

寶曆より安永中。各狂言茶番不名あはれど。

下流と汲ぐ水原遠く。且當年と云はれり。故。

真々素人といふべし。熟々素人狂言の

注意と監製。自他と撰るも。我々も。

己と獲て他と育す。其故如何と云はれ。吾

飲と食と他の口伎と傳ふ。我腹と耗と

他々介料と云はれ。是便ら自他と撰る

〜無我の至るふあはれ也。吾幾日か産

業と獲て他々一夜の酒宴と萃す。我

雜費と不厭と他に景物乃経頭と裏

是乃己と獲て他と育す。不わはれ也。

大鋸屑をのりむすむ。若お利口人ありて。
 ありと一時乃癡呆と謂ん歟。三十拵袖四十
 島田。慶子百もて踊言小守。戯柄と好む
 本園小舟。茶番と嗜む。若翁。高野
 六十乃小生あり。那智八拾の春伎的合
 扮。是と一時乃癡呆と謂ん。若菜子
 の唐人踊。幸大寺。田婦躍も又癡呆
 といふ。まや。まると神代乃他優と優合
 め。素人あり。今素人も他優と
 多自然と神代の趣なりまや。ま人の
 万葉家。醫人乃古方家。書家。上代攝
 儒者の古学と謂ん。我りまの作
 業あり。うらま我りまの守り。自然と
 古小惚ふを想へ。我りまの茶番。素人狂言

專用 佳繕 精工 刷印 不破 不落

生且偶能脚色
巧淨丑科輝
梅溪鈔

試場道人録



式亭三馬戲題



口人 正身三七五百

奇く復古な字やいふ。鳴呼
妄言なりのれ。文化九年。三津
四月下流。本所。小築。欲心。深きふ
毫と抹め。江戸。菰の市徳。

五



戯の房之圖



夏
刀
三

女
七
丹

其二



良口

2
乙

紅

其三



3
口
3

2

4

3
口
3

右
如
樂
歌
川
国
正
画

うきし此森と移久也。舟のまきうのうきとけあり。句よ

ゆのべの風ふはき。移八上野お沸華お。ト江戸おしをうかり

尚世風の男ゆて一六 春批 江戸節といふおのどうも雅で

つ。今一六 秋裡 さらさしづき江戸子ぐうらうてんき

移大がやアうらまき。移 移の内或ハ灸とをき。ちどくり

所が雅味がふうのテ。秋 助六の文句もろくあるの。移 いろ

もあつらふ。八百翁のが廓花道羽左衛門のが所縁江戸櫻

門之助が廓家櫻の狂言の度毎に外題がわたりやと。

八百翁の文句ハ括弧の通ごう。今まで代々の園十郎と

同しとごうするさ。いまご穿鑿いしとあが。秋 ちるやと其

他ハちうとぐ文句が替であるの。移 づきも上品でい。

秋 一そと六雲上ス。移 一の紫れ侍巻も病侍巻ハ左で

結ぶが。助六の侍巻ハ右の方とあよ。まごうけ侍巻の

此不審り。トいひるが右の額くゆひざと。あゆ不陰陽和合

の理があるけとど。惟もあう移入るのさ。是ハとらうとく秘し

ておくるゆえ。トは三人ぐやさうれおまきめをて。清方の高名家入る入る

只一面の知已。あつらふとあつらふとあつらふとあつらふとあつらふと

又 刀 多 上

後^{ノチ}に。あつて。極^{ごく}團^{だん}をいふ。ハナハ。大^{おほい}と。金^{かね}氏^しは。つ
 り。あつて。た^た割^{わり}合^あをいふ。なつて。け^け猪^ぶ草^{そう}で。あつて。さ^さの
 奴^{やつ}も。あつて。威^いふ。あつて。な^なま^まん^んス。是^{これ}を。船^{ふね}の。者^{もの}や。一^{いち}寸^{すん}
 何^{なん}人^{にん}も。供^{とも}をいふ。切^き拂^ひらう。ぢや。後^{のち}に。ハナハ。まを
 よ^よう。と。方^{ほう}圖^とが。後^{のち}に。な^なと。金^{かね}を。つ^つて。後^{のち}に。あ^あれ^れが
 ま^まを。と。ま^まの。肉^{にく}を。い^いふ。と。徳^{とく}が。分^わらう。と。い^いふ。ま^まで。
 お^おつ^つて。後^{のち}に。又^{また}。迎^{むか}へ^への。時^{とき}でも。あ^あつ^つて。肉^{にく}を。後^{のち}に。毎^{まい}日^{にち}
 来^きて。遊^{あそ}んで。あ^あつ^つて。後^{のち}に。金^{かね}を。い^いふ。と。い^いふ。と。い^いふ。と。

そ^そで。は。方^{ほう}金^{かね}つ^つる。酒^{さけ}を。の^のぶ。と。先^まの。酒^{さけ}を。い^いふ。
 口^{くち}が。後^{のち}に。と。衣^{きぬ}でも。後^{のち}に。等^{とん}候^{こう}。と。い^いふ。と。い^いふ。と。
 あ^あつ^つて。後^{のち}に。い^いふ。と。い^いふ。と。い^いふ。と。い^いふ。と。
 と。い^いふ。と。い^いふ。と。い^いふ。と。い^いふ。と。い^いふ。と。
 つ^つて。い^いふ。と。い^いふ。と。い^いふ。と。い^いふ。と。い^いふ。と。
 料^{りょう}理^りを。い^いふ。と。い^いふ。と。い^いふ。と。い^いふ。と。い^いふ。と。
 今^{いま}は。い^いふ。と。い^いふ。と。い^いふ。と。い^いふ。と。い^いふ。と。
 と。い^いふ。と。い^いふ。と。い^いふ。と。い^いふ。と。い^いふ。と。

とありしをみると。半町を越へ本町がある。秋「今有く

全まき町通りへ白浪町二の町へ行く。秋「

秋「さう。わの本産れとて何處もなき。秋「

まき料理家がわりかたに「秋「

さうさう。さうやうに食らうが。秋「

秋「價はさうさう。秋「

奇麗さ。さうさう。秋「

なるりの侍人の出て。秋「

たさるにのあ。秋「

まき「移へ上。秋「

こもくと孔方紙書を。秋「

「だうして。秋「

料理やうさうさ。秋「

仕立。秋「

今夜は。秋「

秋「

久

五

と稱が四上とつてのちう。今夜のめんと早くあらう。

二階入いと方ぐの神屋うちヤレコレトりき。一寸一すく吸唇を

因中も。夜襲討の相違でうをせる。二番目の何くれ

役ごち振の案がつる様へ。ウチとてくれとの。ジイッレトはらうが

一冊もあらねえ。かづろ呼んでおれが指圖にらるら

打せろ。形の振へ白が結とる。産肉がわつとる。若付が何くれで。

和挽が秋のふあんと。くわんごらちの振らう。産出して

申うらう。他もあらね一役よ。あれでも初見紙がわらわらるもので

おあ紙をきと申ふゆらで。まづ二三日の間もいんごど見物

して。善悪紙を定めるは。でんやうきわらう。振あつて

後へとる。評判をきつて見物のゆらちを窺つておれ

あらうといふのさ。おれふひつらけて世帯ややくめんごらう。

三階ぢやうねーうらうぢやうね。まごらう何屋の敷方

でも。何屋のちよでも。おれが例にそのおれ一様

ふらうをばらめるといふ。まごらうといふ。おれがあらうといふ。これかあう
ふら。まごらうといふ。まひひる。まごらうといふ。他とお後する。おれが
これ。おれの中の人をうらうらう。又曰け人。おれが。おれが。おれが。
おれが。おれが。おれが。おれが。おれが。おれが。おれが。おれが。

御のりらる成妻 御のりらる成妻 「コウくわさるの曲 曲 門で今のを 今のを 見逢 見逢 ころ。秋 秋 玉 玉 燈 燈 。

「あや あや 見 見 婦 婦 人 人 が。何 何 ら ら も も く く を を 寄 寄 一 一 夜 夜 して して あ あ 。

の身 の身 へ へ く く へ へ び び へ へ ぐ ぐ へ へ け け の の て て あ あ 。

肉 肉 と と へ へ く く り り へ へ ぐ ぐ よ よ 秋 秋 別 別 て て 美 美 しく しく 見 見 える。秋 秋 「月 月 夜 夜 する する と と は

掃 掃 別 別 どの。妻 妻 「あ あ ん ん た た ー ー ふ ふ 暮 暮 河 河 原 原 の の お お 籠 籠 ぞ ぞ 。

あ あ ん ん ね ね ば ば 子 子 の の 骨 骨 づ づ 。

この。妻 妻 「葎 葎 子 子 の の ひ ひ の の せ せ を を ふ ふ り り て て 雛 雛 草 草 で で 嫁 嫁 さ さ る る 成 成 織 織 着 着 て

裏 裏 河 河 原 原 の の 石 石 牆 牆 へ へ 鮮 鮮 を を 釣 釣 居 居 へ へ の の け け の の 中 中 へ へ 入 入 り り け。

女 女 を を せ せ ぐ ぐ お お 役 役 せ せ ぐ ぐ へ へ 入 入 り り け。又 又 考 考 る る も も せ せ ぐ ぐ へ へ 入 入 り り け。秋 秋 「さ さ ら ら 。

智 智 不 不 い い け け ば ば い。妻 妻 「種 種 之 之 夜 夜 の の 主 主 ぞ。さ さ う う 考 考 る る へ へ 入 入 り り け。秋 秋 葎 葎 。

付 付 賣 賣 居 居 も も 備 備 へ へ ぐ ぐ ち ち や や 移 移 へ へ 。

迷 迷 へ へ ぐ ぐ へ へ ぐ ぐ 。

秋 秋 「あ あ ー ー 大 大 悟 悟 ー ー 。

人 人 一 一 倍 倍 迷 迷 の の 成 成 見 見 へ へ ぐ ぐ 。

味 味 屋 屋 備 備 成 成 さ さ げ げ の の も も あ あ 。

あ あ ぞ ぞ ー ー 小 小 女 女 ぞ。錦 錦 織 織 へ へ ぐ ぐ 。

あり。秋「さういふ内にも浮世者め。でんがうの方へこぼれ

出せ。秋「あんなにうきでいふところ。これを用ひ。秋「落

食ふ落葉も好ぐ。ど。さう。後。う。の。れ。て。何。の。踏。付

とら。秋「大糞ハあやまるの。秋「大糞大脱どの。ち。あ。そ

ま。秋「アしくあそそ。之。相。提。灯。が。あ。る。あ。の。ひ。で。ん。が。さ。

秋「ウニヤ鳴ぐ方が捷徑ど。ムウ。あ。い。し。泥。ま。り。是。れ。て

安心。う。箱。提。灯。不。弓。張。小。茶。屋。の。送。り。と。こ。ん。て

越長の丸提灯が。ん。え。る。秋「お。宿。下。りの。女。中。客。の。

秋「ハハ。蝉。の。声。で。う。い。く。よ。ト。き。を。あ。る。秋「菱。川。師。宣。筆。

日本繪と。あ。そ。や。は。と。終。と。よ。ま。せ。る。や。門。の。塙。町。が。ナ。レ。終

と。の。秋「昔。昼。町。で。う。ら。や。く。大。勢。ど。お。宿。う。ら。の。お。人。を。あ

つ。が。に。傍。家。え。ん。が。お。二。方。お。さ。ぐ。り。あ。そ。ま。り。と。に。其。お。終。ど

あ。う。ら。あ。う。や。ア。大。人。敷。ど。秋「あ。ん。で。も。二。軒。物。の。丈。丈。ど。秋「内

鞆。の。二。う。五。ま。で。と。い。う。割。紙。十。日。経。う。れ。附。は。ど。う。う。日

と。大。入。大。あ。う。う。を。割。れ。ど。さ。日。日。秋「新。の。う。ら。奇。麗。ど。の。さ。る。終

お。宿。敷。女。中。の。書。上。ど。と。せ。ど。う。う。も。人。揃。が。り。男。一。い。る。り。秋

今の着るいままよ〜（お前の母に）よま〜（お前の母に）移入。モウま〜（お前の母に）の感ぜ〜（お前の母に）

早急のへいサ。あぢ屋でわ〜（お前の母に）わ〜（お前の母に）と通〜（お前の母に）只

今の着るいままよ〜（お前の母に）よま〜（お前の母に）移入。モウま〜（お前の母に）の感ぜ〜（お前の母に）

時〜（お前の母に）が〜（お前の母に）ま〜（お前の母に）て移〜（お前の母に）と〜（お前の母に）あ〜（お前の母に）ら。え〜（お前の母に）の員負と〜（お前の母に）

〜（お前の母に）も替〜（お前の母に）ま〜（お前の母に）せん〜（お前の母に）ので私〜（お前の母に）が〜（お前の母に）八百〜（お前の母に）新〜（お前の母に）材〜（お前の母に）分〜（お前の母に）ら大員負〜（お前の母に）

ま〜（お前の母に）に助〜（お前の母に）言〜（お前の母に）る〜（お前の母に）が〜（お前の母に）よう〜（お前の母に）う〜（お前の母に）ま〜（お前の母に）と。惣〜（お前の母に）体〜（お前の母に）役〜（お前の母に）者〜（お前の母に）の員負〜（お前の母に）

と〜（お前の母に）中〜（お前の母に）に〜（お前の母に）短〜（お前の母に）い〜（お前の母に）のでお〜（お前の母に）ぢ〜（お前の母に）い〜（お前の母に）ま〜（お前の母に）が。あ〜（お前の母に）あ〜（お前の母に）。ど〜（お前の母に）う〜（お前の母に）あ〜（お前の母に）ぢ〜（お前の母に）ま〜（お前の母に）ら。マ〜（お前の母に）考〜（お前の母に）

〜（お前の母に）後〜（お前の母に）あ〜（お前の母に）そ〜（お前の母に）ま〜（お前の母に）せ〜（お前の母に）工。高〜（お前の母に）瀬〜（お前の母に）新〜（お前の母に）時〜（お前の母に）分〜（お前の母に）ら〜（お前の母に）い〜（お前の母に）て〜（お前の母に）員〜（お前の母に）負〜（お前の母に）と〜（お前の母に）

員負のある盛〜（お前の母に）の〜（お前の母に）もの〜（お前の母に）役〜（お前の母に）者〜（お前の母に）の〜（お前の母に）ま〜（お前の母に）せん。高〜（お前の母に）瀬〜（お前の母に）新〜（お前の母に）時〜（お前の母に）分〜（お前の母に）と〜（お前の母に）

〜（お前の母に）の〜（お前の母に）も〜（お前の母に）町〜（お前の母に）も〜（お前の母に）一〜（お前の母に）面〜（お前の母に）の〜（お前の母に）花〜（お前の母に）菱〜（お前の母に）であ〜（お前の母に）ら。今〜（お前の母に）も〜（お前の母に）あ〜（お前の母に）ら。

高〜（お前の母に）瀬〜（お前の母に）や〜（お前の母に）と〜（お前の母に）や〜（お前の母に）て。着〜（お前の母に）る〜（お前の母に）人〜（お前の母に）と〜（お前の母に）あ〜（お前の母に）ら。高〜（お前の母に）瀬〜（お前の母に）新〜（お前の母に）時〜（お前の母に）分〜（お前の母に）と〜（お前の母に）

上〜（お前の母に）る〜（お前の母に）あ〜（お前の母に）ら。高〜（お前の母に）瀬〜（お前の母に）新〜（お前の母に）時〜（お前の母に）分〜（お前の母に）と〜（お前の母に）

〜（お前の母に）ら。高〜（お前の母に）瀬〜（お前の母に）新〜（お前の母に）時〜（お前の母に）分〜（お前の母に）と〜（お前の母に）

〜（お前の母に）ら。高〜（お前の母に）瀬〜（お前の母に）新〜（お前の母に）時〜（お前の母に）分〜（お前の母に）と〜（お前の母に）

〜（お前の母に）ら。高〜（お前の母に）瀬〜（お前の母に）新〜（お前の母に）時〜（お前の母に）分〜（お前の母に）と〜（お前の母に）

〜（お前の母に）ら。高〜（お前の母に）瀬〜（お前の母に）新〜（お前の母に）時〜（お前の母に）分〜（お前の母に）と〜（お前の母に）

あきほふるよ。まきとみく。甘んごのう。トガくちせのまほ。春組。...

女とのふのの甲高。調子ふのんごの。モウ本戸を往過。...

へんごのき。トキニ。万福が西の娘が宿。...

女中流でおのひ。二傍。案流が下。...

狂言。かてく。いふる。...

いころの。あ。お。...

いころの。あ。お。...

い。どうせ入るめ。おんまり。...

久。オト余計。...

一番目のちあうを二番目へり。狂言。...

た。八面を。七心。姓。吉。...

秋。ま。...

海。秋。...

う。秋。...

高麗屋のまね成る狂お師も送る。

孝思樓真徳の秋。何をあきらむ。

澤山玄翁のう。あつて。あつて。

者も古今芝居好むを人傳成る。あつて。あつて。

あつても親父が死ぬとお院傳で。あつて。あつて。

茶。あつて。湯の方が酒。あつて。桂枝湯の外盛る。あつて。あつて。

方。あつて。からうとあつて。あつて。あつて。あつて。あつて。

あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。

あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。

あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。

あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。

あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。

あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。

あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。

あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。

あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。

あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。

廿七。馳走ちそうが當あてでま。あきらの真まままの者もの。松まつ。松まつをね者ものが
 強つよなる。民たみ。てりぢやアめんぬ。吉きち。屋やああらら婦むすめが下したのの。大おほい
 の見みるる。風かぜが下したのの。松まつ。ああらら馳ちそうがまんまんん。
 婦たがひ人ひとのああららでで。コウこうくくああららりりのの。ああらら下げへへのの。ああららやや
 が婦つと人ひとのああららるる色いろ男おとこは秘ひ佛ぶつややととままのの。ああらら立たち
 役やくああららるるのの。湯ゆのの。ととんんををてて婦むすめ人ひとをを強つとててややらら婦むすめああららでで
 送まりりのの。とと可うききのの。ああららててのの。引ひ導どうぢぢやや程ほど送まりり。焼やくく
 着きがかいいのの。施せ美み返かへれれふふととるる。民たみ。煮ゆ奴やつ子こ湯か桶づののああらら
 するせ。母はは。コウこうくく。吐はをを服ふくややららててどどううももななららぬぬ。焼や場ばへへ。司し
 家いへのの。止とまますす。コウこうああららるるもも釋はな養やうをを助たすけけようよう。金かね俵たわ予よ誰たれかかあるある。吉きち
 何なによよ。ああららるる各おの々おのととるる。新あらた衫なまこととららるる。ああららるるのの。ああららるるのの。ああららるるのの。
 安やすハハテテナナ。湯ゆへへ浴ゆ衣いととららててああららるる。羊ひつぎ月つき麿ま居ゐるる人ひと。春はる振ふくく。
 ああららるる長なが家やでで。吉きち。ああららるるのの。ああららるるのの。ああららるるのの。ああららるるのの。
 ももややららるるのの。ああららるるのの。ああららるるのの。ああららるるのの。ああららるるのの。
 大おほいききるる面つらでで十八じゅうはち間ま田でんのの。堂どうででああららるる。ああららるるのの。ああららるるのの。
 あの男おとこハハ金かねががああららるる。吉きち。ああららるる者ものやや。婦むすめ人ひとのの。ああららるるのの。民たみ。ああららるるのの。

東 あり。あ。ト。主 ころく。東。一。時。待。ん。る。東。あり。主 まで。独

りく。ま。四。五。町。の。前。の。家。東。あり。主 まで。早。ア。東。あり。く。

あり。あ。ト。大。民。ね あり。く。と。い。や。ら。何。が。變。と。あ。り。く。ら。ハ。ハ。と

い。返。還。の。民。芝。屋。の。奴。を。ろ。り。ナ。イ。く。と。い。や。う。と。あ。い。バ。と。あ。り。ま。ま。ど。

「あ。の。方。が。本。家。で。ら。う。サ。ハ。い。く。べ。い。是。う。う。替。言。と。ま。す。の。中。に。何

ホ。と。ど。民 あり。ト。が。同。ち。や。ア。屋。大。の。肉。を。ぬ。け。る。じ。ひ。得。る。ア。ら。う。と

大。が。歌。の。せ。ロ。ロ。ロ。ト。大。の。声。色。と。つ。い。義。定。の。め。く 妹。ま。め。で。大。き。あ。り

お。傍。に。居。る。う。ら。あ。あ。や。ス。一。人 じ。ひ。の。り。あ。る。お。じ。や。ち。ん。こ。れ。も

ひ。じ。の。ら。迷。の。あ。方。ゆ。き。さ。い。ヤ。義。定。さん 大。塚。前 コ。ウ。太。竿。さん。の。暗

の。夜。ふ。も。駱。と。お。駱。は。さ。あ。り。ぢ。や。さ。く。川。柳。良。ご。子。遠。く。後。人。

ト。キ。ニ。何。人。往。て。ぢ。や。の。倉。大。丈。が。會。人。多。和。泉。町。の。立

會。う。ナ。太。ア。イ。忠。臣。新。さ。場。の。ど。ら。ぢ。や。の。五。段。目。の。虫。文

物。さ。鉄。炮。場。の。茶。壺。の。分。わ。き。を。ま。い。ん。え。て。る。あ。り。や。二。馬。が

作。ぢ。や。あ。い。ふ。太。さ。ま。さ。の。本。う。て。お。ま。さ。太。ア。イ。か。て。も。上

や。う。が。あ。ま。の。傍。に。お。う。り。は。も。ま。る。進。西。宮。で。彫。中。の。あ。ら。あ。ら

か。そ。ん。あ。ら。西。宮。新。が。何。人。男。に。や。り。や。あ。る。か。太 あり。とも

本。林。本。町。二。丁。目

七二

分ぞんあう。太^ホアイさうあう。ト^トまうれあう。今夜もあてぬい

たうちやう^ホ。あんのおあへちやああるあー。あま^ホま^ホぐ^ホは^ホど^ホり

とると切^ホはり^ホの^ホ徹^ホ磨^ホら^ホや。お^ホろ^ホく^ホひ^ホら^ホを^ホ。ヤ^ホ。あ^ホん^ホふ^ホ万^ホ福^ホさん

の^ホ肉^ホで^ホ素^ホ人^ホ狂^ホ言^ホが^ホあ^ホる^ホに^ホよ^ホり^ホて^ホ。あ^ホそ^ホび^ホあ^ホぐ^ホら^ホあ^ホて^ホら^ホれ^ホと

い^ホん^ホた^ホが^ホ又^ホキ^ホヨ^ホボ^ホで^ホも^ホ滑^ホつ^ホて^ホら^ホお^ホの^ホ情^ホあ^ホの^ホあ^ホち^ホや^ホ。能^ホ

所^ホふ^ホ著^ホ書^ホ屋^ホさん^ホが^ホ居^ホて^ホら^ホや^ホ。め^ホつ^ホさ^ホう^ホ冷^ホる^ホ。あ^ホよ^ホと^ホ南^ホ密^ホが

と^ホ食^ホて^ホ往^ホ。そ^ホを^ホい^ホ。そ^ホを^ホい^ホ。ぶ^ホら^ホけ^ホ南^ホ密^ホ。そ^ホを^ホ屋^ホ

さん^ホら^ホう^ホ何^ホ時^ホち^ホや^ホふ^ホ。初^ホ夜^ホあ^ホら^ホ。ハイ^ホら^ホう^ホ四^ホッ^ホあ^ホで

い^ホん^ホた^ホが^ホ又^ホキ^ホヨ^ホボ^ホで^ホも^ホ滑^ホつ^ホて^ホら^ホお^ホの^ホ情^ホあ^ホの^ホあ^ホち^ホや^ホ。能^ホ

う^ホて^ホ六^ホ内^ホ通^ホ地^ホの^ホあ^ホん^ホ。あ^ホ江^ホ戸^ホへ^ホ金^ホが^ホ流^ホす^ホで^ホい^ホん^ホた^ホが^ホ又^ホキ^ホヨ^ホボ^ホで^ホも^ホ滑^ホつ^ホて^ホら^ホお^ホ

で^ホ滑^ホす^ホと^ホけ^ホ。あ^ホ江^ホ戸^ホへ^ホ金^ホが^ホ流^ホす^ホで^ホい^ホん^ホた^ホが^ホ又^ホキ^ホヨ^ホボ^ホで^ホも^ホ滑^ホつ^ホて^ホら^ホお^ホ

強^ホへ^ホの^ホ。あ^ホう^ホも^ホ取^ホ書^ホれ^ホ伊^ホ左^ホら^ホう^ホや^ホ。ま^ホ一^ホむ^ホの^ホあ^ホくれ^ホ。あ

つ^ホう^ホし^ホて^ホな^ホん^ホせ^ホ。あ^ホん^ホち^ホや^ホ送^ホる^ホた^ホら^ホ移^ホる^ホの^ホう^ホ。あ^ホの^ホが

あ^ホの^ホあ^ホら^ホん^ホら^ホや^ホと^ホあ^ホて^ホ。あ^ホら^ホう^ホ強^ホく^ホる^ホ。あ^ホん^ホま^ホん^ホち^ホ引^ホき^ホ。

ヤ^ホ。ト^ホ半^ホの^ホあ^ホけ^ホの^ホあ^ホや^ホあ^ホう^ホの^ホ調^ホ子^ホあ^ホ。肝^ホ魂^ホが^ホ肺^ホの^ホ更^ホ人^ホ者^ホあ^ホ。

め。ね。ね。何。何。人。性。でも。さ。ま。る。め。の。ろ。置。目。申。あ。ろ。千。ツ。ト
 涵。落。も。知。あ。る。が。三。コ。ゆ。く。置。え。ね。ね。申。置。申。強。き。と。は
 叮。嚙。か。を。何。ぞ。の。山。岸。山。岸。を。連。あ。の。一。人。で。あ。ま。ろ。こ。め。ん。ご
 う。つ。れ。て。び。び。き。頭。痛。が。て。天。寔。が。痛。い。と。あ。ろ。こ。ろ。こ。ろ。く
 痛。き。づ。つ。て。痛。大。痛。と。あ。ろ。こ。ろ。多。お。ま。え。と。活。を。さ。る。ふ。け。位。の
 一。週。希。ハ。只。の。達。者。を。あ。ろ。ご。ぜ。マ。オ。ン。く。さ。ろ。ち。ん。て。ワ。ウ。ン。ト
 いろ。い。ふ。ト。血。を。ぶ。ろ。ひ。あ。ろ。ん。温。い。△。長。年。を。あ。ろ。ろ。コ。リ。ヤ
 ち。ん。て。の。い。湯。を。あ。ろ。ん。ト。は。方。の。人。ふ。お。ま。え。が。今。う。ま。け。バ。二。人。の

逢。子。じ。や。が。ど。う。の。み。ん。ぢ。や。い。一。ア。サ。一。人。で。二。人。で。も。探
 し。に。あ。る。時。ハ。因。ド。ろ。ろ。が。は。逢。子。ま。ろ。り。の。二。人。一。緒。で。一。夜。は。
 可。ろ。ち。ろ。が。長。年。の。百。成。金。千。ち。ろ。え。ん。の。時。え。ん。ご。が。年。弱。の
 一。番。の。形。小。ぢ。ん。が。今。年。あ。ろ。八。十。九。の。あ。り。や。ま。去。年。も。本。社
 申。出。せ。て。一。つ。逢。子。の。あ。つ。て。も。不。足。六。万。に。な。れ。ご。ち。お。ま。え。の
 お。ご。が。ニ。テ。の。役。ご。子。を。ま。ま。あ。く。あ。ろ。こ。ろ。の。煤。掃。り。土。用。掃
 り。出。せ。ろ。と。お。き。つ。ち。や。ア。お。け。や。せ。ん。五。五。を。ま。ろ。り。あ。が。ろ。あ。あ
 さ。え。の。お。ご。ぢ。ね。れ。ご。今。年。あ。ろ。八。十。九。で。逢。子。の。あ。ろ。ろ。ご。ご。ろ。ろ。

五ノ口...

...

コトサ又ハカノモシク私のおは是らう物一基
 ちさんすーる各人義理の聖の留らちう同知
 やんあサカレくそまらちうる念入ますとサカレ三吉提燈
 を持てサカレくは後々ノイ高平コレサ通を道が途ノイ
 ごめんあまの珍重寺ノわむと堂建まのノイを大
 湯とうけはせけ先ををえらら。ホイ空免あまの身上寺
 洞堂建まのノイおるトけ。そをやさんトまあると迷
 子のくおるくはあさんと長者所ヤケイ迷まやあ。

ドトドトドト。トあややくむの方よりらちうの集まらんとかちうに任せ。
 せーある解きてある。万を福なるとの小持片も若者の内
 あそ何ら万福。コウト。まのあの方も斤付ト是らう重宝箱めを建
 敷がまらる居當りてよ。コリヤ百次所。ノイ。提灯は左
 のまふおて。すら。おまら巨元の方へ出るものてらあ。あ
 ひらそあのは。とくそわです。あまり近く入ませると巨
 えがららく。そ却てあひみらん燈臺元睛くはある火
 のあぶ。ナよりら。ノイ。ノイ。大店隠居さんのお像りが建
 ろ。くらうた。ノイ。ノイ。ノイ。てあお供ら。ノイ。ノイ。ノイ。と急を

どんと久助どんが来た。万福 八の奥へ入。お吉さん

お釋どん。へエ。まうらうお福さんもお徳でござります。お吉さん

ハお先へお申。お吉さん。五福町へお申。お吉さん

万福 八の先へお申。お吉さん。お吉さん

お徳さん。お徳さん。お徳さん。お徳さん

場ふ居る。お吉さん。お吉さん

長を所や。お吉さん。お吉さん

さうと。お吉さん。お吉さん

お吉さん。お吉さん。お吉さん

お吉さん。お吉さん。お吉さん

お吉さん。お吉さん。お吉さん

お吉さん。お吉さん。お吉さん

お吉さん。お吉さん。お吉さん

お吉さん。お吉さん。お吉さん

お吉さん。お吉さん。お吉さん

素人狂言紋切形卷之上終
素人（素人）狂言（狂言）紋切形（紋切形）卷之上終

素人（素人）狂言（狂言）紋切形（紋切形）卷之上終

素人（素人）狂言（狂言）紋切形（紋切形）卷之上終

素人（素人）狂言（狂言）紋切形（紋切形）卷之上終

素人（素人）狂言（狂言）紋切形（紋切形）卷之上終

素人（素人）狂言（狂言）紋切形（紋切形）卷之上終

素人（素人）狂言（狂言）紋切形（紋切形）卷之上終

素人（素人）狂言（狂言）紋切形（紋切形）卷之上終

素人（素人）狂言（狂言）紋切形（紋切形）卷之上終

素人（素人）狂言（狂言）紋切形（紋切形）卷之上終

素人（素人）狂言（狂言）紋切形（紋切形）卷之上終

素人（素人）狂言（狂言）紋切形（紋切形）卷之上終

素人

狂言

紋切形

卷之上

終

素人狂言紋切形卷之上終

